

2022年4月26日

各 位

会 社 名 株式会社ACSL
代表者名 代表取締役社長 鷲谷 聡之
(コード番号: 6232 グロース)
問合せ先 取締役CFO 早川 研介
(TEL. 03-6456-0931)

海外市場調査等事業費補助金（インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業） に係る間接補助事業者への採択に関するお知らせ

当社は、下記のとおり、一般社団法人日本機械工業連合会が取扱う、経済産業省令和3年度補正予算「海外市場調査等事業費補助金（インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業）」に係る間接事業者に採択され、「インド及び日本におけるドローン製造プロセスのデジタル化」事業（以下、本事業）を進めることとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業の概要

インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業は、インド太平洋地域におけるサプライチェーン強靱化を実現するサプライチェーンの可視化、ロジスティクスの高度化、貿易手続きの円滑化及び生産拠点多元化に向けた実証、事業実施可能性調査又は人材育成等に対して、実施に要する経費の一部補助をすることで民間事業者等による地域のサプライチェーン強靱化に向けた取組みを促進することを目的としています。

本事業の実施期間は2022年4月から2023年2月までを予定しており、補助金の受領は2023年12月期を予定しております。なお、2023年12月期に受領する補助金の金額は最大76,302千円の予定ですが、最終的な補助金の金額及び計上時期については一般社団法人日本機械工業連合会からの確定通知書により確定いたします。

2. 事業の背景・目的

当社は2022年1月28日に中期経営方針「ACSL Accelerate 2022」を公表し、経済安全保障の強化や航空法改正に伴う有人地帯上空における目視外飛行（レベル4）の緩和や免許制度などの整備が進む中で、「持続可能なグローバル・メーカーへ」変遷することを目指し、事業を推進しております。

中期経営方針の事業戦略の一つとしてインド市場の本格的な立上げを掲げ、2021年9月に合弁会社であるACSL Indiaを設立いたしました。現在、インド南部のタミル・ナードゥ州コインバートル（Coimbatore）においてドローンの製造工場を設置し、現地における製造・販売・保守メンテナンス

体制を構築しております。

本事業の採択では、ドローンの構成部品のマスターデータベースを作成することで、日本とインドにおける製造プロセス全体の「見える化」を行い、よりレジリエントで強靱なサプライチェーンを構築することを目指してまいります。

3. 今後の見通し

2022年12月期通期業績への影響につきましては、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期業績予想に織込み済みです。なお、2023年12月期通期業績への影響については現在精査しており、2023年2月に発表予定の2022年12月期決算短信における2023年12月期通期業績予想に織込む予定です。

以 上